

富山市

介護相談員だより

第25号

介護相談員バッヂ

2024.03 富山市介護相談員 富山市新桜町7-38 富山市介護保険課内 TEL443-2206

～施設職員と介護相談員の意見交換会を開催しました～

【令和5年9月11日 大会議室にて開催。施設職員19名、相談員22名参加】

施設職員より、施設での取り組みや活動を紹介していただき、また介護相談員活動に関する思いなどお話を聞き、参考にしてグループに分かれて意見交換をしました。

活動発表

新型コロナウイルス感染対策 ～外部との繋がりについて感じたこと～

くれば苑 介護士長 見波 栄二郎 氏

コロナウイルス発生により令和2年3月は手探りで感染対策マニュアルを作成し面会中止、職員の行動自粛などに取り組んだ。

令和2年6月からアクリル板越しの面会を開始し、面会の中止や再開などを繰り返してきた。

課題

- 家族と顔を合わせる機会が減り、本人も家族も不安。職員との信頼関係も築きづらい。
- 家族に会えず、外出できず、利用者の刺激が減った。
- 介護相談員やボランティア受入れを中止し、外部目線で意見を聞く機会がなくなった。



感想

施設の方は感染症対策や行事など、他施設の様子が参考になったようです。

～意見交換会の内容より(施設職員と介護相談員の意見交換、情報交換)～

悩んでいること

アクリル板なしで近づきたい要望あり。

コロナ禍に入所された方の、元々の生活状況の把握が難しかった。

感染対策は継続、面会は予約制。いつ緩和できるのか。

施設で感染した、と家族から訴えられて困った。

相談員活動へのご意見、期待など

利用者の刺激になる、本音を引き出せる。

相談員を楽しみに待つ利用者がある。

5類になり感染対策が施設の自己判断となり対応しづらい。



工夫していること

家族との繋がりは大事、外出方法を工夫した。抗原検査と体温や体調の確認を徹底した。

感染対策をマニュアル化した。家族は安心された。

職員が気づけない点は教えてほしい。

他の施設の様子も知りたい、参考にしたい。

～介護相談員が10年表彰を受けました～

「相談員を続けて」 富山市介護相談員 石原 朝子

10年、あっという間の10年でした。

私の母は、悠々自適の一人暮らしを楽しんでいましたが、脳梗塞になってから、ヘルパーとデイサービスの利用を始めました。私は働いており、週1～2回しか会いに行けず、毎日心配でしたが、随分気が楽になり助かりました。

高齢化が進む今、「介護」が特別な言葉ではなく、自然に受け止められるようになりました。介護する人もされる人も希望を持って生活できるよう、何か出来ないかと思い、介護相談員に応募しました。

介護相談員の仕事は、施設を訪問し、利用者さんの困りごとなどのお話を聞くこと、施設や市役所へ伝えることです。利用者さんと施設が問題を解決する橋渡し役を務めます。その場で職員さんにお伝えし解決することもあります。また、施設的环境や展示物、工夫していることなどをお聞きして、他の施設にお伝えすることもあります。

人生の大先輩である利用者さんのお話は、とてもためになります。特に戦時中のご苦労には頭が下がります。だからこそ、今はゆった～りと気持ちよく過ごしていただきたいと思います。慣れない団体生活は戸惑いや不安もあり、混乱することもあると思いますが、職員さんの優しい声かけで、気持ちも落ち着き、平穏な生活ができると思います。いつも忙しい職員さんに頭が下がり、感謝しています。

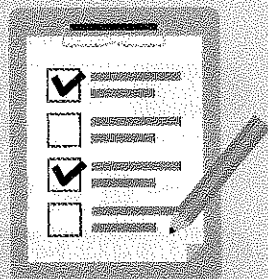
私も相談員として利用者さんの気持ちに寄り添い、お元気で過ごしていただけるお手伝いをさせていただきます。これからもよろしくお願いします。



意見交換会に向け、意見や施設での工夫、虐待防止の取り組みについてアンケートをとり、44か所から回答をいただきました。ありがとうございました。一部を紹介します。

要望、意見など

- 訪問を楽しみにしている利用者もいる。
- 外部との関わりをもてるよい機会である。
- 不適切だと気づかないこともあり、指摘してほしい。
- 職員へのねぎらいは励みになる。



虐待防止の取り組み状況について紹介します (令和6年度より、義務化されます。)

- 44か所全て、虐待防止の取り組みをされています。虐待への意識の高まりを感じました。

● ● ● こんにちは 介護相談員です! 活動を紹介します ● ● ●

介護相談員24名は、介護保険施設を訪問し、ご利用者等が困っていること、疑問に思っていること、施設にお願いしたいことなどをお聞きし、また介護相談員自らが気づいたことなどを施設にお伝えすることで、施設で安心して過ごせるよう、施設との橋渡し役を担っています。介護職員さんのがんばっていることや悩みなどをお聞きすることもあります。

〈実績〉通常の訪問をしています、中止も多く、コロナ禍前の半分程度となっています

受入れ施設	特別養護老人ホーム	老人保健施設	グループホーム	相談件数(件)
令和4年	20か所	9か所	31か所	2,106 (1年間)
令和5年	26か所	13か所	34か所	2,326 (4～9月)

【第2回定例会】 **研修報告** 令和5年7月25日開催

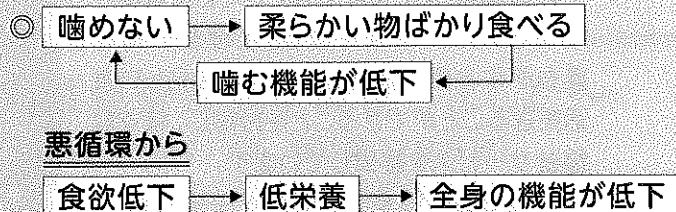
講義 **「要介護高齢者の歯の管理と口腔ケアについて」**

講師 富山市保健所 西岡歯科衛生士

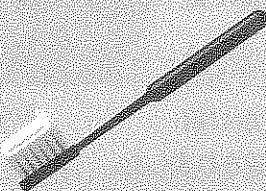
◎噛むといいこと

ヒ 肥満予防
ミ 味覚の発達
コ 言葉がはつきり
ノ 脳の発達
ハ 歯の病気予防
ガ がんの予防
イ 胃の働きを良くする
ー
ゼ 全力投球

◎人は奥歯で身体のバランスをとる



◎歯ブラシや歯みがき粉を正しく選び使っていくことも元気な身体でいるためには大切なことと言える。



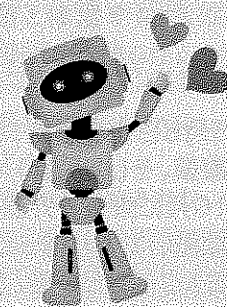
感想 歯は生きていく力に繋がっていると知り驚きました。

【第4回定例会】 **研修報告** 令和5年11月2日開催

講義 **「施設での介護テクノロジーの活用紹介」**

講師 とやま介護テクノロジー普及・推進センター 中林 美奈子先生 前田 悠登先生

高齢者が増え、必要とされる介護職員の数が追いつかなくなっていくなか「どのように質の高い介護を提供していくのか」という疑問が浮き彫りになっています。介護ロボットは、その問題解決の一つの手段として期待されています。ただし、経営者、利用者、職員の三者にとって、良いものでなければならぬものです。ぜひセンターを活用してみてください。



感想

触れ合うだけで笑顔が溢れる物や取り入れることで介護負担が軽減される物であり、様々な立場に優しい介護ロボットが特別な物でなく当たり前に使われる未来に期待します。

施設紹介

社会福祉法人 光風会

感想

訪問するたび、季節感あふれる素敵な掲示物や中庭の花々に心が和みます。

社会福祉法人光風会は、「人を大切に地域と共に 未来を創る」を理念に掲げ、誰もが住み慣れた地域で、その人らしい生活を送ることができることを目指し、様々な福祉サービスを提供しています。

地域密着型特養「堀川南光風苑」は、平成28年8月に開設しました。1丁目、2丁目と2つのユニットがあり、全室個室で定員29名の方が入居されています。

当苑では看取り介護にも取り組んでおり、11月には約3年ぶりに家族向け看取り研修会を開催し、24名のご家族が参加されました。

映像を観た後、看護師による説明を行い、研修終了後には「いい研修だった」「不安だったけど、話を聞いて少し安心した」という声もあり、看取りについての理解を深めていただけたと感じています。



ぬくもり祭(施設の秋祭りの様子)

今後も日頃から入居なさっているご本人、ご家族との対話を大切にし、最期までその人らしく過ごしていただけるよう、更なるケアの充実に向けてスタッフ一同取り組んでいきます。

光風会の様々な活動は、ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



施設入所者家族向け看取り研修会

光風会のホームページはこちら
<http://www.koufuukai.jp>



編集後記

5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、慎重に通常の施設訪問を始めました。ワクチン、治療薬、そして何より医療・介護従事者の頑張りのおかげで、ほぼコロナ禍前の日常生活に戻りつつあります。

10月に東京で介護相談員研修があり、6名が参加しました。代表の方が「医療・介護現場はこの3年半を大変な思いで乗り切った。皆さんはその思いを汲んでほしい。感染は絶対にゼロにはならないだろう。再びパンデミックになった時、3年半で工夫を凝らし、苦労してやれたことを貴重な財産として活かしてほしい、私たちも活かしたい」と力説されました。

この「介護相談員だより」も、その一助となれば幸いです。

発刊にあたり、寄稿に協力してくださった方々に感謝申し上げます。

〈編集委員：野末・神田・九里〉